

1. 研修名 : 住民主体の介護予防を支援する仕組みづくり
2. 対象者 : 市町村総合事業担当者及び地域包括支援センター職員、生活支援コーディネーター、他
参加者募集 : 130名
3. 目的 : 地域づくりによる介護予防では、住民自らが主体的に「通いの場」を運営し、体操などの介護予防活動を行うことをめざす。
この取り組みを成功させるためには、市町村や地域包括支援センターが「住民の主体性、やる気」を大切にし、地域がつながる「仕組みづくり」をめざして取り組むことが必要とされている。
大阪府大東市の取り組みから、「住民の主体性を活かし、地域がつながり、快活な街づくり」を創設する仕組みを学ぶ機会とする。
4. 主催 : 沖縄県（実施委託先：沖縄県リハビリテーション専門職協会）
5. 講師 : 逢坂 伸子 氏
（大阪府大東市 地方創生局兼保健医療部 高齢介護室 課長参事）
6. 日時 : 平成 29 年 12 月 18 日（月） 午後 1 時 30 分～5 時
7. 場所 : 浦添市てだこホール 市民交流室

8. プログラム

時間	内容
13:00 ～ 13:30	受付
13:30 ～ 13:20 (10分)	事業説明 沖縄県子ども生活福祉部高齢者福祉介護課 介護企画班
13:20 ～ 15:20 (120分)	講演：「住民主体の介護予防を支援する仕組みづくり」 ・大東市での取り組み ・住民の「やる気」が高まる仕組みづくり
15:20 ～ 15:30 (10分)	休憩
15:30 ～ 16:30 (60分)	グループワーク： ① 住民の「やる気」が高まる支援方法 ② 住民主体の活動を支援する行政と専門職の役割
16:30 ～ 16:50 (20分)	まとめ・質疑応答